

会 議 録

会議の名称	第4回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会
開催日	平成25年8月20日(火)
開催時間	午前10時から 正午 まで
開催場所	白岡市役所庁舎 4階 特別大会議室
会長の氏名	秋葉清一郎
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	高橋直樹、明野真久、細井将司、鶴岡 洋、高原 昭、佐々木 操、市村春樹、浅野悦子、長谷川 博、野口政治、橘井公治、浅見淳二、斉藤正美、神山邦夫、中川幸廣、秋葉清一郎、柳 政男、菅原清孝 18人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	折原茂幸、尾崎晴男 2人
説明員の職・氏名	総合政策部長 平岩亮司 企画調整課公共交通準備室 室長 齋藤 久 企画調整課公共交通準備室 主幹 大谷昌司 企画調整課公共交通準備室 主査 内田英俊
事務局職員の職・氏名	総合政策部長 平岩亮司 企画調整課 課長 野口仁史 企画調整課公共交通準備室 室長 齋藤 久 企画調整課公共交通準備室 主幹 大谷昌司 企画調整課公共交通準備室 主査 内田英俊
その他会議出席者の職・氏名	傍聴2名

<p>会議次第</p>	<p>1 開会  2 挨拶  3 会議事項  (1) 検討項目 7〔運行ダイヤ〕について【継続協議】  (2) 検討項目 1 3〔予約期限〕について  (3) 検討項目 5〔運行曜日〕について  (4) 検討項目 6〔運行時間帯〕について  (5) その他  ア 第 5 回会議の日程について  イ アンケート調査の回答状況（件数）について  4 閉 会</p>
<p>配布資料</p>	<p>会議次第  検討項目 7〔運行ダイヤ〕について【継続協議】  検討項目 1 3〔予約期限〕について  検討項目 5〔運行曜日〕について  検討項目 6〔運行時間帯〕について  検討項目及びこれまでに選択した方向性    ☒ 高齢者（65歳以上）の分布  ☒ 高齢者（65歳以上）と交通に不便を感じている割合が高い地区の分布  本市におけるデマンド交通の導入シミュレーション（想定 1、想定 2）    白岡市オンデマンド交通の需要シミュレーション（東京大学大学院資料）</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<b>1 開会</b> 平岩総合政策部長の進行により会議が開会した。
秋葉会長	<b>2 挨拶</b> 秋葉会長から挨拶が行われた。
事務局	<b>3 会議事項</b> <b>(1) 検討項目7〔運行ダイヤ〕について【継続協議】</b> 事務局から資料に基づき説明が行われた。
秋葉会長	前回の会議では、「基本ダイヤなし」で上程されたが、皆様の意見により「基本ダイヤあり」の方向の検討となった。意見・質問などがあればお願いします。
A委員	<b>(質疑)</b> 「基本ダイヤあり」は、コスト面、効率面は良いが、問題になるのは利便性に欠ける点である。「あり」と「なし」でコスト面はどのくらい変わるのか。
事務局	「あり」と「なし」の具体的なコスト試算には至っていない。前回、「なし」としたのは、可能な限り乗合率を高めたいということが事務局の考えであるためである。 1台の車両に複数の方が乗り合うことが、民間のタクシーとの違いである。 乗合率を高めて運行効率を上げることと予約の際の迎える時間を、例えば午前10時の便で予約した方も10時10分から20分までの間に迎えに行けるという利用者の利便性を考えて、参考イメージとして、45分間隔、50分間隔で例示をさせていただいた。

B 委員	<p>デマンド交通は、利用人数が多いと待っていただかなければならなくなる。利用者ニーズに合わせて待ち時間を少なくするには、車両数を増やさなければならない。</p> <p>また、遠い距離の人を迎えに行くと、戻ってくる時間が掛かり利便性が悪くなる。利用者が増えるほど、一人乗りが多くなり自由度が下がる。</p> <p>利用者に車両の時間に合わせていただく方が、少ない台数で効率的に回す意味でも良いと思う。</p>
C 委員	<p>参考のイメージを見ると、両方変わらないのではないかと。運転は続けて走るイメージだが、どこかへ戻るのではないかと。</p> <p>1 便と 2 便の間には間隔が必要であるので、時刻表例では 1 1 便あるが、実際は 9 便から 1 0 便しか走れないのではないかと。</p>
事務局	<p>加須市のパンフレットを見ていただきたい。加須市は 3 つのエリアに分けて運行している。北エリアは 2 1 km<sup>2</sup> を 1 台の車両で運行している。中エリアは 6 2 km<sup>2</sup> を車両 2 台、南エリアは 5 0 km<sup>2</sup> を 2 台の車両で運行しており、1 時間に 1 便の基本ダイヤを組んでいる。</p> <p>白岡市の面積は 2 4 . 8 8 km<sup>2</sup> である。1 日 1 台として 4 5 分間隔、5 0 分間隔の参考イメージを示したのは、白岡市はコンパクトなので効率的に運行できると考え、このイメージを出した。</p> <p>例えば午前 8 時 3 0 分の便については、できる限り 9 時 5 分に終了して次の午前 9 時 1 5 分の準備をする。その間 1 0 分の余裕を持たせて、間合いの時間を想定している。</p>
C 委員	<p>4 5 分間隔というのは、運行時間 3 5 分という理解でよいのか。</p>
事務局	<p>はっきりとした運行時間は言えないが、平均的な 1 便の運行時間は 3 5 分から 4 0 分位とし、次の便に備えることとしている。</p>
B 委員	<p>「基本ダイヤあり」の場合の方が運転手は休憩を取りやすい。</p>

	<p>「基本ダイヤなし」の場合は45分に来てほしいなど、その都度、まちまちとなる。</p> <p>今回示している時間は、参考なので絶対ではない。C委員の意見を参考にして、45分から50分間隔でよいかは、今後、事務局で検討していただくことで良いのではないかと。</p>
秋葉会長	<p>白岡市の場合は、「基本ダイヤあり」だと比較的まっすぐに行き、「基本ダイヤなし」だとジグザグに走る可能性がある。運行距離なども「基本ダイヤあり」の方が少ないと思う。</p> <p>その他に質問、意見はないか。</p>
D委員	<p>定時定路線方式でなくドア・ツー・ドア方式に決まったが、基本ダイヤの第1便の午前8時30分は、車庫を出る時間なのか。</p>
事務局	<p>午前8時30分に車庫を出ることである。</p>
秋葉会長	<p>住民の利用する立場での意見はないか。</p>
E委員	<p>まだ具体的にはなく、イメージでは、個人的にはよろしいのではないかと考えている。</p>
D委員	<p>前回、運行エリアは全域と決まったが、区域を西と東の二つに分けて基本ダイヤが組まれるのか。全域を一つの基本ダイヤで回るのか。それによりダイヤの時間が決まるのではないかと。</p>
秋葉会長	<p>車両の動き方について、事務局から説明を願いたい。</p>
事務局	<p>本市におけるデマンド交通の導入シミュレーション資料の3枚目を見ていただきたい。</p> <p>現段階で事務局が考えているのは、JR宇都宮線を概ねの境にして、東と西に分けて車両2台で運行することを想定している。</p> <p>東部地域に住む方がJR宇都宮線を西側に渡って白岡中央総合病院に行くこともできる。また、大山地域に住む方がJR宇都</p>

秋葉会長	<p>宮線を東側に渡ってパーク病院に行くこともできる。</p> <p>運行エリアの属性はほぼ決まっているが、東側の車両が西側に、西側の車両が東側に行くこともあるということか。</p> <p>他になれば、「基本ダイヤあり」という方向でよろしいか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
秋葉会長	<p>「基本ダイヤあり」ということで定める。</p>
事務局	<p><b>(2) 検討項目 13【予約期限】について</b></p> <p>事務局から資料に基づき説明が行われた。</p>
D委員	<p><b>(質疑)</b></p> <p>「基本ダイヤあり」で決まったが、予約期限1時間前までということは、間に合えば、基本ダイヤ15分前でもよいのか。</p>
秋葉会長	<p>例えば、45分ダイヤで見ると、利用する時間の1時間前で間に合うのかという質問でよろしいか。</p>
事務局	<p>5ページの方向性に「当日の利用時間1時間前まで」と記載しているが、「基本ダイヤの出発時間1時間前まで」と事務局は考えている。この文言が適切でなかったことをお詫びする。</p>
秋葉会長	<p>利用時間は、運行時間の出発時間と同じ意味ということか。</p>
F委員	<p>例えば、セダンタイプ4人乗りは1時間前に予約が4人に達した場合は、増車しないで断るのか。</p>
事務局	<p>その時間には乗れないので、オペレーターが次の便や前の便で調整して、できるだけ多くの人に利用してもらいたいと考えている。</p>

秋葉会長	<p>なかなか運行イメージがつかみにくいかと思うが、疑問などないか。</p> <p>質問がないようなら、予約期限については当日の基本ダイヤの1時間前までに、予約の開始は利用日の1週間前から受け付けるということでよいか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
事務局	<p><b>(3) 検討項目5〔運行曜日〕について</b></p> <p>事務局から資料について説明が行われた。</p>
G委員	<p><b>(質疑)</b></p> <p>利用者の立場からは、毎日運行が望ましいと思う。</p> <p>日曜日は、大体の医療機関が休みで、家族支援もあるとされているが、一人暮らしの人もある。日曜日もやっている病院もあり、文化、福祉施設は日曜日もやっている。1日中、公共交通がないのはどうかと思う。</p> <p>利用者が少ないので運行しないのは、公共交通とはいえない。市として莫大な金額が掛かるということであれば、経費を考えて、土曜日、日曜日は、平日の半日だけ運行するのはどうか。</p> <p>あるいは1台だけ運行した場合、50万7千円の上乗せで毎日運行させることができる。煩雑にはなるが、毎日運行をしていただきたい。</p>
H委員	<p>民間事業者に配慮するなら、デマンド交通に制限を設けてもらいたい。例えば、福祉タクシー券の発行を拡大して、高齢者向けのタクシー券などを考えたらどうか。</p>
秋葉会長	<p>バス、タクシーにも配慮してもらいたいという意見である。他にないか。</p>
I委員	<p>車両2台、ドライバーも2人ということか。事業者がやるということだが有給休暇等もある。ドライバーの想定費用は、1日</p>

事務局	<p>18,000円だと時給約2,500円で毎日運行することになり、ここも変わるのか。業者が人の手配をするので構わないのか。</p> <p>事務局は車両2台を想定しているが、今後の検討項目なので、その時点の協議で決まる内容となる。交通事業者に委託する事業を想定しており、運転者は延べ人数ではなく、車両1台1名の実人員の交代制で考えている。</p>
事務局	<p>G委員の建設的な意見について、事務局としても市民の方の利便性と運行経費のバランスを考えて悩んでいる。</p> <p>基本的には高齢者の方や交通弱者の最低限の生活の交通手段の確保を考えている。セーフティネットとして、真にサービスが必要とする方、通院や買物などに困っている方を救いたい。</p> <p>市が広く公共交通を担うのではなく、民間に担っていただく部分と市が最低限担う部分との役割分担が必要と考えており、日曜日・祝日は、民間のサービスを利用させていただきたいとの思いから今回の提案となった。</p> <p>G委員から1台を毎日運行、1台は平日のみ運行という貴重な意見をいただいたので、検討させていただきたい。</p>
C委員	<p>市の方向性として、平日と土曜運行を提案しているが、デマンド交通を平日運行にして、その差約400万円をタクシー券に充てるのはどうか。越谷市ではやっている。平日にデマンド交通の予約ができない場合も使える。</p>
秋葉会長	<p>平日運行と平日＋土曜運行の差をタクシー券に使ったらどうかとの新しい提案をいただいたがどうか。</p>
事務局	<p>C委員から貴重な意見をいただいているが、この会議の場で事務局として意見を申し上げるのは難しい。</p>
J委員	<p>白岡市オンデマンド交通の需要シミュレーション資料によると、70歳以上のバス利用の大半は通院だが、通院目的でデマン</p>

事務局	<p>ド交通を使われると、この部分のバス利用者がなくなる。バス事業者としての立場から非常に危惧する。</p> <p>また、土日も病院はやっているということだが、土日に病院へ行く人は、サラリーマンなど普段平日に行けない人が使うのではないか。平日に通院していただければと思う。</p> <p>朝日バスは民業として、白岡駅から菖蒲までの非常に重要な路線を運行している。デマンド交通を運行することで、バス路線が廃止する方向になるのは、いけないと思っている。</p> <p>G委員から毎日運行というご意見もいただいたが、従来からのバス・タクシーの維持を考えてデマンド交通を協議していただきたい。</p>
秋葉会長	<p>事業者の意見と利用者の意見が、相反してバランスがずれる。次回に保留としたいが、事務局としてどう考えるか。</p>
事務局	<p>継続協議としていただきたい。事務局としての考え方が大きく変わることは想定していない。</p>
J委員	<p>白岡市と隣接する久喜市でもデマンド交通が始まる。既存事業者としては、交通需要が変わるのを心配している。これ以上需要が落ち込むと、見直しを考えないといけない。この会議での自分達の立ち位置が分からない。</p>
K委員	<p>デマンド交通は、既存事業者の経営に影響を与えるが、実際にどれくらい影響があるのか検証していただきたい。今後、バス、タクシーとデマンド交通が共存しやすい環境をつくっていくことが必要と思う。</p>
事務局	<p>公共交通を運行している民間事業者に、全て担っていただければ問題はないが、現状の公共交通にデマンド交通で補完しないと地域の方の足の確保ができないという認識のもとに、今回の検討を行っている。</p>

B 委員	<p>デマンド交通の影響については、数字がないので、提供していただければ検証していきたい。</p> <p>東京大学大学院で作成していただいたオンデマンド交通の需要シミュレーションの3ページにあるように、現在、家族送迎で移動している方を利用者として想定している。</p> <p>3連休の時に対応しなくてもよいのか。高齢者は1週間分まとめて買物ができないなど、市内の移動の実態を考えて提案させていただいている。</p> <p>市民の方は利用者として便利に、事業者としては仕事を減らさないようにという話に、落とし所はどこか考えるのがこの会議だと思う。</p> <p>シミュレーションどおりにいかない、実施してみないと分からないのが現実である。</p> <p>現在、苦勞されている一人暮らしで全く出掛けられない方を救うのが基本ではないか。全住民をデマンド交通で救うようなものとすれば、バス、タクシーが撤退してしまう。</p> <p>かといって、デマンド交通はいつまであるか分からない。最低限、救わなければならない人を基準としたらどうか。</p> <p>土日の利用について、緊急の人はデマンド交通を使わない。タクシー、バス事業者に影響がないことを確認し、最低限のサービスからスタートするのが、一番良いのではないかと思う。</p>
F 委員	<p>事業者と住民の共存共栄を考えなくてはならない。最近、買物難民の話が出ているが、ワンストップ、ワンショッピングで、車で郊外の大型店へ行って地元の商店街が無くなったことが要因と思う。</p> <p>数十年後に、車、自転車に乗れなくなった時に、歩いて行ける所に店がない状態になっている。共存共栄で考えていかないと、一般住民や市へ来た人の足がなくなってしまう。</p> <p>事務局の提案の内容がよろしいのではないかと思う。</p>
秋葉会長	土曜日をどうするかという点についてどうか。

事務局	<p>第1回資料の1ページに鉄道、2ページにバス、3ページにタクシーについての白岡市の現状を示している。</p> <p>バス関係でいえば、白岡駅～菖蒲仲橋、蓮田駅～菖蒲車庫の状況を示している。3路線の各バス停の乗降者数の提供について、朝日バスとお話していたところなので、検証など考えていきたい。</p>
J委員	<p>今はバス停ごとの乗降客数は把握できないが、できれば提供したい。</p>
秋葉会長	<p>その試算ができれば、土曜日をどうするのか協議ができる。利用者は利便性、事業者からは経営を圧迫してほしくない、そのバランスがどこか、データをいただいて次回議論させていただきたい。</p>
事務局	<p>検証は、重要と考えている。朝日バスの協力でデータをいただいても、利用者がどう動くかは、実際のデマンド交通が動かないと明確にならないということはあらかじめお知りおきいただきたい。</p>
秋葉会長	<p>この項目については、次回継続協議ということでよろしいか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
	<p><b>(4) 検討項目6〔運行時間帯〕について</b></p>
事務局	<p>事務局から資料について説明が行われた。</p>
I委員	<p><b>(質疑)</b></p> <p>運行時間帯について、出庫と入庫の時間を示しているが、車庫はどこかを教えてほしい。</p>
事務局	<p>加須市では、契約した事業者の車庫としている。</p>
I委員	<p>事業者が白岡市内ならよいが、市外なら時間が掛かるというこ</p>

	とか。
事務局	はい。
H委員	最終便は、便数によって午後5時30分からずれるということか。
事務局	資料3ページの便数によっては、変わることがある。
H委員	午後5時30分が最終の降車時刻と考えてよいか。
事務局	委託する時の設定時間になる。今のところ、午前8時30分から午後5時30分までと考えているが時刻表により変わる。 先ほどのI委員の話について、デマンド交通は区域内に営業所があることが前提であるため、車庫は市域内となる。
秋葉会長	便数により変わってくるということだが、午後5時40分になることがあるということか。
事務局	時間は曜日とも絡んでくるが、公共交通としてデマンド交通の導入について、利用者にも守り育てていただきたいと思っている。理想としては、午前7時から午後8時までの運行ができればよいが、民間事業者との調整もある。 全国的事例から午前8時30分から午後5時30分までが一般的なので、これを基本線として考えたい。
秋葉会長	時間帯は、昼間で午前8時30分から午後5時30分までを基本とすることでよいか。
全委員	異議なし。
秋葉会長	事務局の提案のとおりとする。

事務局	<p>(5) その他</p> <p><b>ア 第5回会議の日程について</b></p> <p>事務局から9月24日(火)午前10時からの案の提示が行われた。</p> <p>質疑なく、案のとおり決定された。</p>
事務局	<p><b>イ アンケート調査の回答状況(件数)について</b></p> <p>事務局から3,000通を発送し、昨日までに1,410通回収(47.0%)したことを報告し、質疑なく終わった。</p>
佐々木副会長	<p><b>4 閉会</b></p> <p>佐々木副会長から挨拶が行われた。</p>